



▼三送会（1月20日）

今春3月に卒業する3年生と1・2年生のお別れの会を体育館で開きました。生徒間の親睦を深め、高校生活も残り少ない3年生を気持ちよく送り出すために生徒会が企画・運営しました。全校生徒参加のクイズやゲーム、思い出のスライドショー上映などで、和やかなひと時を過ごしました。

▼1年生震災ガイドツアー勉強会（1月26日）

厚真町の魅力や特徴の一つとなる防災学習（勉強会）を行いました。勉強会は、11月から全4回開催し、人前で話すことやホスピタリティについて考えてきました。興味を持った生徒には「高校生による震災ガイドツアー」育成プログラムへとつなげていきます。

▼2年生就職ガイダンス（2月2日）

ガイダンスは、自分の考えや体験を発表し、意見交換などを通して、社会人として求められる基礎的能力の向上を図るのが目的です。大原出版株式会社 菊池静香氏、大山佳子氏が講師を務めました。

ガイダンスでは、「コミュニケーションの基本」や「社会・仕事を知る」、「グループワーク（会社づくりゲーム）」、「自己PR・志望動機」、「模擬面接」について学習。1日の取り組みを通して能力の向上に励みました。

▼1年生・2年生スキー体験学習（2月3日）

スキー体験を通じて、終日かけてウインタースポーツを楽しみました。朝、バスで学校を出発し日高国際スキー場へ。インストラクターの指導のもと班別に滑走し、夕方に学校へ到着。充実した一日となりました。

▼生徒会4校交流（2月6日）

本校と虻田高校、穂別高校、苫前商業高校の生徒会が遠隔機器を活用して、放課後に交流しました。それぞれの高校の地域紹介や学校行事の工夫など、お互いに情報を交換して有意義に交流しました。



スキー体験学習

生徒会交流

ある日のセッション

先月、1年生の男子がギターケースを持って、「ギター買いました！」と、よりみち学舎に入ってきました。厚高祭のバンド演奏で強くギターに興味を持ち、アルバイトをして貯めたお金で買ったようです。スタッフに教えてもらったり、動画を見ながらコツコツ練習したりして、徐々に弾けるようになっていく姿を間近で見ていると、「好きこそ物の上手なれ」とはまさにこういうことだと実感します。

「こんにちはー！」と、元気な声で町民がソフトボール大会前によりみち学舎へ立ち寄ってくれました。ギターを弾いていた生徒を見て、「俺も昔、ギターやってたんだよね」と声を掛け、町民もギターを手にとって生徒の前で見事な演奏を見せてくれました。偶然にもギターが2本あったので、おのおのギターを弾いて、語って、教えてもらって…。生徒は目を輝かせ、緊張しながらも楽しさにあふれた表情に満たされていました。

二人の交流は、偶然、起きたものに過ぎないかもしれませんが、公営塾という場所があって、ここでは興味ある物事への取り組みを応援しているため、必然的に生まれたコミュニケーションだと私は考えています。

「なりたい自分になる」ために行動し、その様子が人を引きつけて交流が生まれ、そこに学びが芽生える。素敵な仕掛けを育みます。

教育魅力化支援員 川嶋 圭

町民とギターセッションする
厚高生

よりみち通信



「よりみち学舎」は厚真高校と地域が連携しながら放課後を利用して生徒が自ら目標を発見し挑戦する公営塾です。